

# 保健室・学生相談室だより

## 🌸 風疹が流行の兆しを見せています 🌸



### 風しんとは

風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる急性の風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症です。

風しんウイルスの感染経路は、飛沫感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播します。

症状は不顕性感染から、重篤な合併症併発まで幅広く、特に成人で発症した場合、高熱や発しんが長く続いたり、関節痛を認めるなど、小児より重症化することがあります。また、脳炎や血小板減少性紫斑病を合併するなど、入院加療を要することもあることから、決して軽視はできない疾患です。

また、風しんに感受性のある妊娠20週頃までの妊婦が風しんウイルスに感染すると、出生児が先天性風しん症候群を発症する可能性があります。

### かかった場合

感染すると約2～3週間後に発熱や発しん、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。風しんの症状は子どもでは比較的軽いのですが、まれに脳炎、血小板減少性紫斑病などの合併症が、2,000人～5,000人に一人くらいの割合で発生することがあります。また、大人がかかると、発熱や発しんの期間が子どもに比べて長く、関節痛がひどいことが多いとされています。

発しんの出る2～3日前から発しんが出た後の5日程度まで感染性があります。

風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの女性が風しんウイルスに感染すると、眼や心臓、耳等に障害をもつ（先天性風しん症候群）子どもが出生することがあります。（妊娠1ヶ月でかかった場合50%以上、妊娠2ヶ月の場合は35%など）。妊娠中の女性は予防接種が受けられないため、特に流行地域においては、抗体を持たない又は低い抗体価の妊婦は、可能な限り人混みを避け、不要不急の外出を控えるようにしてください。また、妊婦の周りにいる人（妊婦の夫、子ども、その他の同居家族等）は、風しんを発症しないように予防に努めて下さい。



参考文献 厚生労働省ホームページ (<https://www.mhlw.go.jp>)



## 学生相談室からのお知らせ

### ★夏休み期間の相談について

学生相談室では夏休みも通常とおり相談を受け付けています。

ご利用の際は事前にご予約下さい。

《予約方法》

- ・ B棟地下1階の学生相談室に直接予約にお越し下さい。
- ・ または電話、メールでも予約を受け付けています。詳しくは下記のお問合せ先をご覧ください。

※精神科医による「こころの健康相談」次回は10月9日（火）14:00~16:00  
となります。

10月以降の日程は次号の保健室・相談室便りでご案内しますが  
予約はいつでも受け付けています。

詳しくは学生相談室までお問い合わせ下さい。



## 学生相談室フリースペースのご案内

夏休みも通常通りに開室しています。

開室時間 平日 9:00~17:00

図書貸し出しも行っていますので、是非気軽にお立ち寄り下さい。



### 【問い合わせ・連絡先】

B棟地下1階 保健室 092-606-7293

学生相談室 092-606-7251

学生相談室 E-mail [counsel@fit.ac.jp](mailto:counsel@fit.ac.jp)

受付時間 9:00~17:00(月~金)

掲載期間 2018年9月末